

吉野川みずべ情報誌

川活

KA WA

KA TSU

特集

行ってみよう！大川村(高知県)

インタビュー

帰って来られる故郷であり続けたい

～一般社団法人大川村ふるさとむら公社 平賀洋司さん～

頻発する豪雨災害に備える

金砂を歩く

サイクリングでダムカードを集めよう

No.6

2018.10

国土交通省 四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所
独立行政法人 水資源機構 池田総合管理所

特集 行ってみよう！大川村



平家平の登山道
写真提供:大川村



大座礼山の登山道



小金滝の駐車場付近から 間近で見ることのできる滝

おおかわむら
大川村では、春の花々、夏の青葉、秋の紅葉など四季折々の
自然の景色を楽しめます。



四国内で最大級の落差を誇る小金滝。県道17号線沿いの駐車場

神秘の滝めぐり

◆小金浦

四国でも最大級の落差約100mの小金滝は、山腹の断崖から流れ落ちています。県道17号線沿いに駐車場やトイレがあり、気軽に滝を見ることができます。おすすめのポイントは、駐車場近くの小金滝橋を渡った地点から見上げる眺めです。運が良ければ虹色に染まる滝を見ることができます。

今回は、そんな大川村の自然の観光スポットを紹介します。特に紅葉シーズンは美しく、例年10月下旬には紅葉が始まり、赤や黄色に染まる風景が広がります。

大川村は、高知県の最北端、四国
の水瓶「早明浦ダム」の水源地域に
あり、高知自動車道の大豊ICから車
で約50分のところに位置しています。

◆ 銚子滝
小金滝から県道17号線を道沿いに西に進み、銚子滝の案内板を目印に分かれ道を右に曲ります。5分ほど坂を上ったところに架かる橋から絶落差約35mの銚子滝を眺めることができます。大小さまざまな岩の間を複雑に流れる幻想的な滝です。

◆大北川渓谷

その昔、高僧釈善聖に關わる美女が身を投じた言い伝えがあり、ここで雨乞いの祈願をすれば必ず雨が降ると言われています。県道6号線沿いに案内板がありますが、そこから展望所まで急な階段を降りるので、歩きやすい服装でお越しください。

大川村で紅葉を見るなら、大北川渓谷がおすすめです。シーズン中は、渓谷全体が黄金色に色付きます。また、翁の滝を始め、名もない滝も多くあり、各所で滝と紅葉の共演を楽しめます。



銚子浦



妃ヶ淵



Let's 登山

高知県と愛媛県の県境付近に位置する大座礼山にはブナ林が広がり、春にはシャクナゲやマンサクなどの花々、夏には青葉、秋には紅葉、冬には樹氷というように、四季折々の表情を見せてくれます。今回、夏の青葉が生い茂る中で大座礼山の登山を楽しみました。

大川村役場から車で約30分、大北川渓谷に沿って県道6号線を北西に進むと、愛媛県との県境手前に「大座礼山」の案内板が見えます。案内板から先は未舗装の道路になるため、県道沿いに駐車して、登山口まで歩きます。なお、新居浜市から大川村に至る市道が通行止めになっていること、大北川渓谷では携帯電話の電波が届かないことにご注意ください。

登山口の案内板に書かれた「気を付けてね！」を心に刻み登山開始。



おおざれやま
大座礼山の山頂付近からの眺め

ちょっとよりみち

白滝の里にある「白滝里の茶屋」では、土佐はちきん地鶏や大川黒牛をいつでも食べることができます。

【営業時間】10:00~16:00 (3月下旬~11月末)

【定休日】火曜日

【問合せ先】0887-84-2201



土佐はちきん地鶏の親子丼と大川黒牛のバーベキューセット

ふるさと村民 暑集中!!

大川村では「ふるさと村民」を随时募集しています。年会費1万円で、四季折々の大川村のふるさと小包が年3回郵送されるなど盛りだくさんの特典があります。大川村をセカンドスペースにしてみませんか？

入会については、(一社)大川村ふるさとむら公社(白滝の里)に直接お越しいただくか、お電話下さい(☎ 0887-84-2201)。

大川村のふるさと村民制度の詳細については、大川村ホームページをご覧ください。



開始早々から約30分は急な登り坂が続き、体力を使います。これを過ぎると緩い傾斜が続き、木々の葉や苔の緑、木漏れ日、沢を流れる水の音などを楽しみながら進めます。紅葉時期に登れば、紅葉に囲まれながらの登山を楽しめます。大北川の源流を見る事もでき、この水が早明浦ダムに注ぎ、四国4県を潤す源になっていることを思うと、感謝の気持ちが湧いてきます。

登山道の途中、木の枝などにリボンがついています。これは登山の先輩方が残してくれた道しるべです。これを見失わないよう登れば、山頂まで到達できます。登山の最大の魅力は山頂から見える景色ではないでしょうか。さらに大座礼山の山頂付近では、樹齢数百年を超えるブナの巨木たちが迎えてくれます。最も古いブナは、残念ながら病害で枯死

しており、葉が生い茂る姿を見るとはできませんでした。しかし、その幹の巨大さは圧巻でした。

大座礼山の登山口から山頂の往復は約3時間のルートで、日帰りでの登山も可能な初級コースです。大川村には他にも、野地峰や東光森山の中級コース、平家平の上級コースもありますので、登山経験者の方もお楽しみいただけます。

大川村の「食」

白滝の里にある白滝里の茶屋では、大川村の特産品である大川黒牛と土佐はちきん地鶏を、いつでも食べることができます。

大川村の自然を満喫しに来られた方、次ページで紹介する謝肉祭のチケットを購入できなかつた方、是非とも大川村特産の「食」を堪能してください。



インタビュー 帰つて来られる ふるさと 故郷であり続けたい

さめうら湖畔にある大川村。豊かな自然に囲まれ、都会とは違った時間の流れを味わえる。

大川村ふるさとむら公社

大川村ふるさとむら公社には、昔、白滝鉱山がありました。その頃の人口は4千人ほどいましたが、白滝鉱山が昭和47年に閉山となり、鉱山があつた白滝地区から従業員や家族など約2千人が村を出ました。当時は映画館、銭湯、パチンコ場もあり賑わっていたと聞いています。昭和42年には早明浦ダムの建設が始まり、村の旧中心地が水没することで、さらに多くの住民が立ち退きました。現在の人口は約400人であり、離島を除いて、日本一人口が少ない村となっています。

早明浦ダムができる当時の村民の方々には、複雑な思いがあつたと理解しています。しかし、これからは、ダムに沈んだ不幸な村ではなく、逆にダムがあることを利用して、村全体が盛り上がるような取り組みができればと前向きに考えています。

大川村の魅力

大川村の魅力

大川村ふるさとむら公社

大川村ふるさとむら公社には、昔、白滝鉱山がありました。その頃の人口は4千人ほどいましたが、白滝鉱山が昭和47年に閉山となり、鉱山があつた白滝地区から従業員や家族など約2千人が村を出ました。当時は映画館、銭湯、パチンコ場もあり賑わっていたと聞いています。昭和42年には早明浦ダムができる当時の村民の方々には、複雑な思いがあつたと理解しています。しかし、これからは、ダムに沈んだ不幸な村ではなく、逆にダムがあることを利用して、村全体が盛り上がるような取り組みができればと前向きに考えています。

謝肉祭

謝肉祭は、ふるさとむら公社の構想と同時期に、当時の村の若者たち（青年団）を中心に始められました。まずは村民が元気になるというコンセプトで、村民全員で特産の大川黒牛を食べたのが始まりです。今では、毎年11月3日に、大川村特産の大川黒牛と土佐はちきん地鶏のバーベキューをお腹いっぱい食べられるイベントとして県内外から多くの方にお越しいただいています。8月中旬に販売する1500枚のチケットも数時間で完売します。本当は自分も食

大川村の歴史

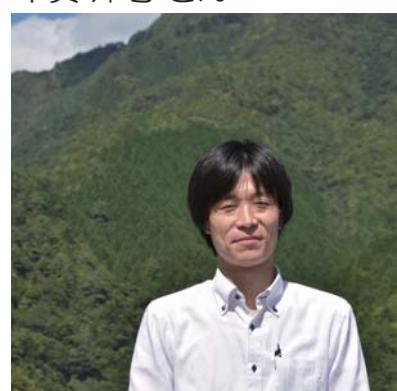
大川村には、昔、白滝鉱山がありました。

大川村には、昔、白滝鉱山がありました。その頃の人口は4千人ほどいましたが、白滝鉱山が昭和47年に閉山となり、鉱山があつた白滝地区から従業員や家族など約2千人が村を出ました。当時は映画館、銭湯、パチンコ場もあり賑わっていたと聞いています。昭和42年には早明浦ダムの建設が始まり、村の旧中心地が水没することで、さらに多くの住民が立ち退きました。現在の人口は約400人であり、離島を除いて、日本一人口が少ない村となっています。

大川村には、昔、白滝鉱山がありました。

この方に聞きました

一般社団法人
大川村ふるさとむら公社
業務執行理事
平賀 洋司 さん



高知県土佐郡大川村で生まれ育つ。8年間大川村の職員として勤めた。村の活性化や振興に将に取り組むために、一度、村の外に出て民間企業で働く決意し、27歳のときに転職。8年間のリゾート会社での勤務で、ゼロから施設を立ち上げる部署への勤務を自ら希望し、観光業のノウハウを学んだ。平成27年秋に大川村に戻り、現職に就き、行政や村の仲間たちとともに大川村を各地にPRするために日々奔走している。

べたいのですが、皆さんに楽しんでいただけるよう運営しています。

謝肉祭を続いている根幹には、鉱山で働いていた方、早明浦ダムの建設で村を出た方などの大川村で育った方々にとつて、帰つて来り続けたいとの思いが強くあります。

また、大川村で生まれ育つた方でなくとも、故郷のような懐かしい雰囲気を感じて欲しいです。



謝肉祭を運営する大川村青年団の集合写真

ちょっとよりみち

土佐はちきん地鶏

公社では村づくりに総合的に取り組んでいますが、特に「土佐はちきん地鶏」の養鶏と販売に力を入れています。新しい食鳥処理施設もできました。高知県を挙げての産業の1つとしてご支援をいただき、高知市内の商談会などにも行っています。大阪のお店や源流域と交流がある徳島のNPO法人新町川を守る会にも販売していただいています。

土佐はちきん地鶏は、高知県原産の土佐九斤の雄を大シャモの雌に掛けています。

大川村役場より約1km東にある「村のえき(結いの里)」では、大川村の特産品である土佐はちきん地鶏の冷凍パックなどを販売しています。カレーやチャーシューなども置いており、これからも新商品が続々と登場する予定です。

また、土日祝には、大川黒牛の牛丼、土佐はちきん地鶏を使ったコラーゲンたっぷりのラーメンなどを食べることができます。

【営業時間】10:00~16:30

(食事は土日祝の11:30~16:00)

【定休日】水曜日

【問合せ先】0887-84-2233



「土佐はちきん地鶏」販売先募集中!!

【平日9:00~18時】

【土日祝】

FAX ☎ 0887-84-2201

食鳥処理施設

大川村の豊かな自然の中で一貫生産している土佐はちきん地鶏は、から揚げ、焼き鳥、カレー、サラダなどいろいろなメニューにご利用いただけます。興味を持たれた方は、お気軽にご連絡ください。



また、全国的にまだ出回っていない「土佐はちきん地鶏」を販売したいという方は、左記までご連絡ください。大歓迎です。

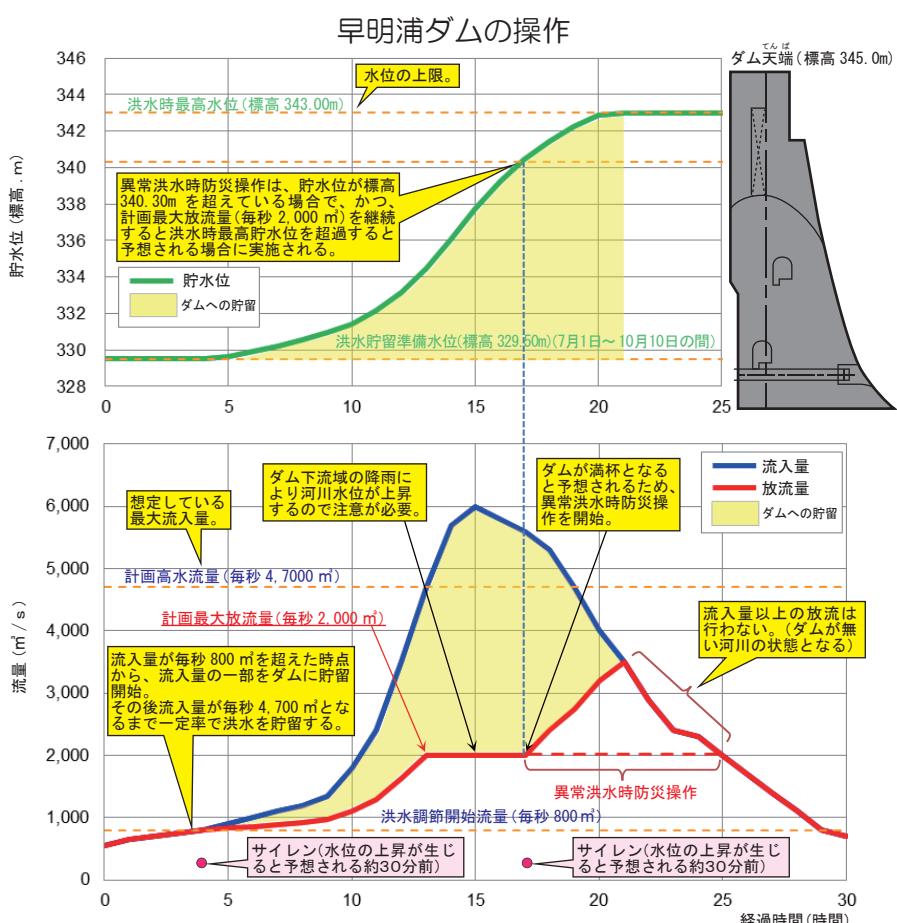
頻発する豪雨 災害に備える

各地で発生する災害

近年記録的な豪雨により全国各地で水害・土砂災害が頻発しています。特に今年発生した、「平成30年7月豪雨」は、死者行方不明者が230人を越え、平成に入つて最悪の被害となりました。各地のダムで想定を越えた雨量により、ダムが満杯となつたため、流入量とほぼ同量の水を放流せざるを得ない状況となりました。

ダムの防災操作とは

ダムが洪水被害軽減に有効なことは明らかですが、各ダムの洪水調節容量（洪水を貯める容量）は限られており全ての洪水を防げるわけではありません。想定を超えた雨が発生しダムが満杯となつた場合の操作について、吉野川水系を代表する早明浦ダムを例に紹介します。



※サイレンによる一般への周知は、ゲート放流開始時や急激な放流時にも行われますが、流入量が毎秒800m³以下の時である上図では省略しています。

早明浦ダムは、流入量が毎秒800m³を超えると流入量の一部を貯留開始し、最大流入量毎秒4,700m³の時に、放流量を毎秒2,000m³に減じる計画となっています。

早明浦ダムの計画高水流量（想定してある最大流入量）は、80年に一度の確率で発生する規模であり、洪水調節容量は9,000万m³を有しています。しかし、異常な降雨により洪水調節容量が無くなると予想される場合は、貯水位が標高340・3mを超えた時

点から、放流量を流入量に等しくなるのを防ぐために緊急の措置として行われます。早明浦ダムは、昭和50年に完成して以来、計画高水流量を超過する洪水が4回発生し、そのうち2回は異常洪水時防災操作を行っています。このようにダムの洪水調節容量には限界があることから、想定外の洪水時

平時から備える

国土交通省および都道府県では、洪水予報河川および水位周知河川に指定した河川について、洪水浸水想定区域図を作成し公表しています。市町村では、洪水浸水想定区域図に避難場所などを記載した洪水ハザードマップを作成し、印刷物の配布やインターネットなどにより、住民の方々に周知しています。

いち早く避難するためには

吉野川ダム統合管理事務所や池田総合管理所では、吉野川の河川水位、雨量、ダムの放流量などのデータを10分毎に公表しています。災害時にも、これらの情報を提供していますので、自らも積極的に情報を収集していただき、危険を感じれば、自治体からの避難情報とあわせて早めの避難を心がけて下さい。

に被害を最小限にするためには、避難行動が重要となります。

「洪水」の意味

一般的に洪水とは、大雨などによって河川の流量が普段より増大したり、氾濫することですが、ダム管理では、一定量以上のダム流入量を洪水と呼んでいます。流域の気象状況や下流河川の状況などによりダム毎に設定されています。

早明浦ダムは、流入量が毎秒800m³を超える場合を洪水と呼んでいます。

雨量やダムの放流量などのデータをリアルタイムで提供しています。

国土交通省 川の防災情報



<http://www.river.go.jp/>

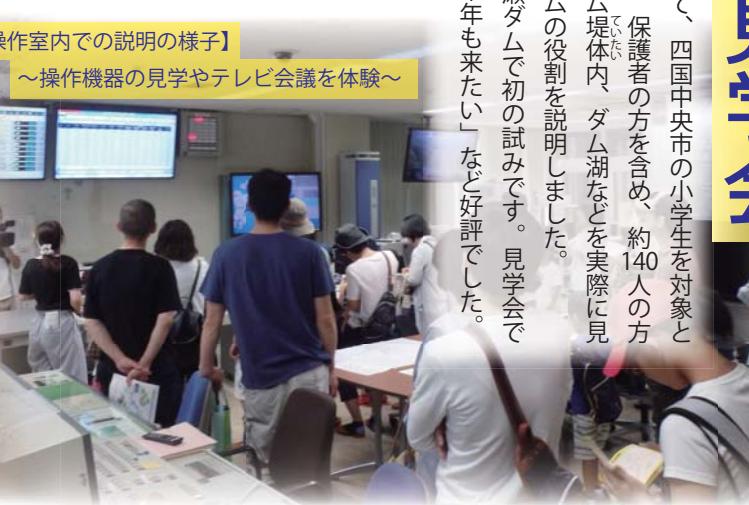
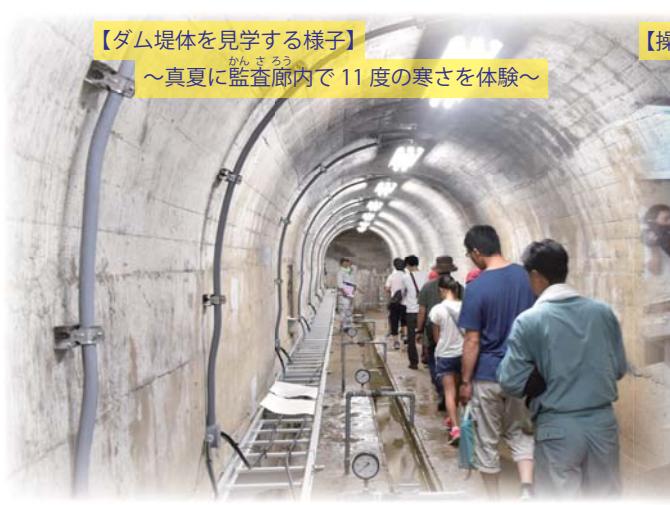
水資源機構 池田総合管理所ダム情報掲示板

<http://www.ikesou.jp>

《銅山川（四国中央市）にあるダムの見学会を実施しました》



富郷ダムは8月4日、ダム施設見学会とあわせて、オリフィスゲートの点検放流を実施しました。事前募集を行い、お年寄りから子供まで、大勢の方が参加しました。今回、富郷ダムで行われた点検放流は、一般公開された点検放流としては四国初になります。普段見ることのできないゲート放流に、見学者達は興奮を隠せない様子でした。



富郷ダム施設見学会

柳瀬ダム施設見学会

柳瀬ダムでは、8月6日から11日にかけて、四国中央市の小学生を対象としたダム見学会を行いました。見学会には、保護者の方を含め、約140人が参加しました。見学会では、操作室やダム堤体内、ダム湖などを実際に見学しながら、あまり知られていない柳瀬ダムの役割を説明しました。

こういった見学会は64年目を迎える柳瀬ダムで初の試みです。見学会でしか見れない所も多く、参加者からは「来年も来たい」など好評でした。

新掲載！
きんしゃく

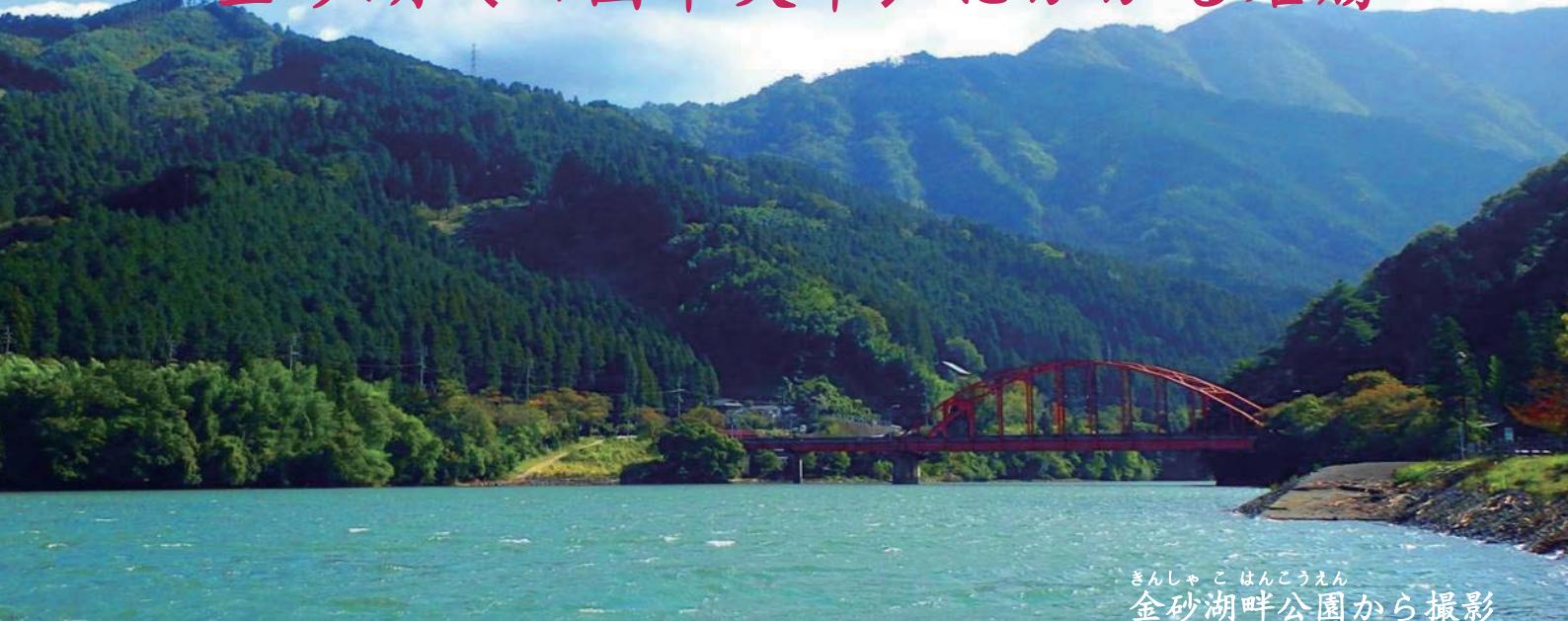
～金砂湖（四国中央市）にかかる名勝～

≈ 金砂を歩く ≈

平野橋

≈ 金砂を歩く ≈

金砂湖畔公園から撮影



— 新掲載にあたって —

今から64年前に完成した柳瀬ダムの貯水池は、金砂湖とよばれています。この金砂湖は、人工湖でありながら愛媛県の自然公園に指定されるなど、豊かな歴史と自然があり、その周辺にもたくさんの貴重な建造物や、綺麗な風景があります。そういった魅力を多くの方に知ってもらいたいという思いから、この「～金砂を歩く～」を企画しました。記念すべき第1号は、金砂湖にかかる「平野橋」です。

現在の平野橋は、金砂湖にかかる全長168.8mの三径間アーチ橋で、1971年3月に完成しました。県指定名勝にも登録されている、金砂湖を望む平野橋の景色は、四季を問わずとても綺麗です。



架け替え前の初代平野橋
出典「伊予三島市 嶺南」より

初代平野橋は、柳瀬ダムが竣工した頃に完成しましたが、重量制限が6トンと小さく、その後増える車両に対応できず役目を終えました。現平野橋の少し上流に現在でも、橋台だけが残っています。平野橋の歴史を感じながら見るのも良いかもしれません♪



初代平野橋と2代目平野橋の位置



≈ 場所 ≈

金砂湖畔公園から徒歩5分
※橋の上での停車は危険ですので、
公園駐車場をご利用ください。

サイクリングで

柳瀬ダム、新宮ダム

※ダムカードについては裏表紙をご覧下さい

① スタート地点 (下長瀬あじさい公園)



駐車スペース有り
アクセス 三島川之江ICから車で約30分

② やなせ 柳瀬ダム



ダムカード配布日時 9:00~17:00

(土・日・祝日を含む)

問い合わせ先 柳瀬ダム管理支所 0896-29-0011
管理支所入口のインターホンを押してください。

コース延長	約 51km
最大標高差	約 230m



③ 新宮ダム



ダムカード配布日時 9:00～17:00（土・日・祝日を含む）
問い合わせ先 新宮ダム管理所 0896-72-2021
休日は管理所玄関のインターホンを押し
てください。

④ 折り返し地点（道の駅 霧の森）



有名な霧の森大福の販売をはじめ、新宮茶や施設内で作ったお菓子をご賞味いただけるカフェ、レストラン、疲れを癒やしてくれる温泉などがあります。

定休日 月曜日（祝日の場合、翌平日）4～8月は無休
開館時間 10:00～17:00 問い合わせ先 0570-07-3111



てらの・金砂湖畔広場秋の感謝祭

☆別子・翠波はな街道サイクリング2018 同日開催☆

《平成30年11月4日（日）》

れいなん
嶺南地区の活性化を図るべく、法皇湖に面したてらの
湖畔広場にて毎年開催されています。地元の旬の野菜
や果物、アメゴの塩焼き、手作りの郷土料理などが販
売されています。また、当日は別子・翠波はな街道サイ
クリングも同時開催。こちらは順位を競う大会では
なく、サイクリングを楽しむ大会となっています。

所 てらの湖畔広場（四国中央市富郷町）

問 四国中央市観光交通課

別子・翠波はな街道サイクリング実行委員会
(事務局：四国中央市観光交通課)

TEL: 0896-28-6187



イベントの
お知らせ

■第20回 四国酒まつり

《平成31年2月23日（土）》

めいしゅ
四国中から集めた銘酒から自由に飲み比べて、自分好みの
お酒に出会えるはず！酒まつりの他、町のあちこちではマル
シェなど楽しいイベントが盛りだくさん！また当日は、
地元の酒蔵が開放され、普段入ることができない内部を
隅々まで見ることができる酒蔵めぐりもオススメです。

所 みよし
三好市内各所（徳島県三好市）

交 あわいけだ
地酒試飲会場（サンライズビル）は
阿波池田駅より徒歩3分

問 四国酒まつり実行委員会（阿波池田商工会議所）

TEL: 0883-72-0143

<http://www.shikoku-sakematuri.com/>



2019土佐れいほく博ニュース

2019年7月7日から12月25日まで開催される

「2019 土佐れいほく博」まで1年をきりました。

現在具体的なイベントの内容などが議論されています。

多くの皆様に会場に足を運んでいただき、嶺北の魅力を
知っていただけるよう、これからも随時情報を発信して
いきます。

開催場所 嶺北広域エリア（本山町、大豊町、土佐町、大川村）

※開催期間中は、観光案内や博覧会のイベントなどの情報提供を行う会
場が設置されます。

メイン会場 （仮称）アウトドアヴィレッジ（本山町）

サテライト会場 道の駅大杉（大豊町）、村のえき（大川村）

道の駅土佐さめうら（土佐町）



おいでよ！四国のまんなかへ

土佐れいほく博
嶺北地域観光キャンペーン

森と湖のある 風景画コンクールの表彰式を開催

吉野川ダム統合管理事務所では「よりよい吉野川」をテーマとして、吉野川上流域の小学生を対象に図画の募集を行いました。今年は高知県からは大川小学校、土佐町小学校、本山小学校、吉野小学校、また徳島県からは池田小学校から応募がありました。そして応募作品合計165点の中から審査を行い、その結果42点を優秀作品に選定し、早明浦ダムふれあいホールにて7月27日に表彰式を開催しました。それでは優秀作品に選ばれた児童のみなさんを紹介します。

金賞

本山小学校 1年 北村 由衣さん
本山小学校 2年 石本 凜さん
大川小学校 3年 西原 舞香さん
大川小学校 4年 朝倉 純弥さん
大川小学校 5年 西原 侑夏さん
大川小学校 6年 和田 仁さん



銀賞

本山小学校 1年 秋山 龍之介さん
吉野小学校 1年 原来斗さん
池田小学校 2年 新田 隼さん
池田小学校 2年 山下 幸苗さん
本山小学校 2年 稲本 桜子さん
本山小学校 2年 兼子 樹梨さん
本山小学校 2年 下田 瑠虎さん
本山小学校 2年 田岡 暖菜さん
土佐町小学校 3年 上土井 亘さん
土佐町小学校 3年 森澤 未夢さん
大川小学校 6年 田中 里音さん
吉野小学校 6年 川口 貴史さん

銅賞

本山小学校 1年 高橋 祈里さん
本山小学校 1年 中野内 結菜さん
本山小学校 1年 畠山 宗也さん
本山小学校 1年 森下 萌さん
池田小学校 2年 天野 心愛さん
池田小学校 2年 伊藤 あかりさん
池田小学校 2年 大久保 詩音さん
池田小学校 2年 大西 和さん
池田小学校 2年 小田和 臣さん
池田小学校 2年 高岡 菜々子さん
池田小学校 2年 古谷 茉莉香さん
本山小学校 2年 岩本 未来華さん

本山小学校 2年 右城 和乃羽さん
本山小学校 2年 宮岡 柚皓さん
本山小学校 2年 山中 龍生さん
吉野小学校 2年 井上 拓虎さん
土佐町小学校 3年 鍵山 暖斗さん
土佐町小学校 3年 崎内 杏香さん
土佐町小学校 3年 近藤 稔真さん
吉野小学校 3年 川口 朝美さん
吉野小学校 4年 高橋 翼斗さん
大川小学校 5年 福嶋 華凜さん
吉野小学校 5年 久保 弥真人さん
吉野小学校 5年 吉川 大貴さん



川活で掲載する写真を募集中

川活で掲載する「吉野川上流域の魅力が伝わる」写真を募集しています。
この町といえばこれ！というものから、まだ広く一般的に知られていないものまで、
その場所に訪れたくなるような写真をお待ちしています！

募集テーマ

募集写真撮影範囲

吉野川上流域の魅力が伝わる写真

池田ダムより上流域



応募規約

※ご応募いただく前に必ずお読みください

- ご応募いただいた写真は川活広報誌で使用させていただきます。
- 表紙及び掲載予定のものについて、内容が変更になる場合があります。
- 表紙用写真について、次回以降に表紙以外のページで使用する場合があります。
- 応募作品は返却しないものとします。

写真送付先について

宛先 : skr-toukaa60@mlit.go.jp

応募方法 : デジカメデータ (JPEG、TIFF) をメールにて提出して下さい。メールには、写真タイトル、撮影場所、撮影日、氏名（ペンネームでも可）、お住まいの都道府県を記載して下さい。

集めよう! ダムカード

どう行くか?

どう巡るか?

どこから行くか?

吉野川上流のダムを巡って、
高知県ダムカードをゲット!

6種類!

四国内の
ダムなら
55種類!
全国なら、
ナント700種類以上!

※公式カード含む

【ダムカード】とは?

【吉野川みづべ情報誌「川活」】とは

吉野川は、日常生活や産業のための水供給、水力発電などの面で、四国4県を支える大きな力となっています。
情報誌「川活」は、レジャー、産業、文化、歴史、また川で活躍する方たちを紹介し、水源地域を含む吉野川流域の活性化の一助になるよう発行しているものです。
皆様からも、ダムや川に関連する活発なご意見をお寄せいただければ幸いです。

意見送付先 mail:skr-toukaa60@milt.go.jp

【発刊】

●国土交通省 四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所
TEL 0883-72-3000 FAX 0883-76-0301
吉野川ダム統合管理事務所
ホームページ
<http://www.skr.mlit.go.jp/yoshino/>

●独立行政法人 水資源機構 池田総合管理所
TEL 0883-72-2050 FAX 0883-72-6376
池田総合管理所
ホームページ
<http://www.water.go.jp/yoshino/ikeda/>

表紙の写真:夜明けの柳瀬ダム。(平成30年7月3日撮影)